



糟屋いのちを大切にする会 & エンブリオ糟屋



▲志免町で講演会を行いました(2022年2月)



▲ 毎月発行の「生命尊重ニュース」



▲ おなかの赤ちゃんから大切ないのち



おなかの赤ちゃんから すべての命が大切にされるために

糟屋いのちを大切にする会&エンブリオ糟屋では、毎月生命尊重ニュースの勉強会を開催しています。エンブリオ基金の活動として、地域に「エンブリオ募金箱」の設置拡大をしています。

おなかの赤ちゃんの応援募金箱設置と呼びかけを行い、福岡県内では、エンブリオ基金から産みたいけれど迷っている妊婦さんの相談を受け付け、支援を行っています。

今年度は経口中絶薬承認反対の署名活動を中心に活動していく予定です。



◀代表
山本 富美子氏

アピールポイント

▼団体の目的(団体規約より)

生命尊重ニュース・情報誌を通して、おなかの赤ちゃんからすべてのいのちが大切にされるために、「いのちは授かりもの」、「預かりもの」の生命観の啓発し、すべてのいのちが尊重され守られる社会の実現を目指す。

▼主な活動内容

- ・いのちを守る講演会又はいのちの授業講演会開催
- ・円ブリオ基金活動の拡大・充実
- ・胎児と母親を守るサポート事業の普及
- ・ゆりかご通信の発行

▼過去の実績等

なし

団体基礎情報

代表者名 山本 富美子
連絡先住所 非公開
TEL 090-4873-9950
FAX 非公開
E-mail 非公開
ホームページ なし
SNS なし
主な活動分野 人権擁護

活動場所 糟屋地区 主に志免町・福岡市あすみん
設立年月 平成31年4月
会員数 11名
会員世代 30代~70代
年会費 一般3千円以上 協賛4千円以上
会員募集 あり
発行者 「ゆりかご通信」(不定期)
年間収入規模 62千円(繰越金含む)